

# 青春不再来

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。

「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

## 「いじめ」の根絶を目指して

校長 大塚 啓

11月8日、「ハッピー仲間集会」を実施しました。参加したのは、学区の小学校6年生と当校の1年生です。長年行っているこの取組は、「いじめ」の根絶を目指した取組として行われているもので、今もその精神を受け継ぎ、11月の大事な行事として小学校と中学校が連携して行っています。今回は、小6と中1の生徒が混在したグループを作り「仲間って何だろう」というテーマで話し合いを行いました。

私は、「学校とは、先輩後輩の関係や共に学ぶ大勢の仲間の中で、競い合い、励まし合い、認め合いながら、心も身体も自立した人間へと成長する大切な場である」ととらえています。伸び盛りの生徒たちの毎日の学校生活を見ていると、多くの場合、自分の興味や関心のあることに一生懸命に生き生きと取り組む姿が見られます。しかし、一方で、学習や部活、あるいは友達との付き合いの中でトラブルとなってしまう、思い悩む姿が時折見受けられます。多くの人間の集まる集団生活の中では、どうしてもトラブルは起きてしまうものです。中でも、「いじめ」は、「どの学校でも、どの子どもにも」起こりうる、子どもたちにとって最も身近な人権侵害と言えます。私たち大人は、いじめの未然防止に向け、日頃から子どもたちとの信頼関係を築き、心の声に耳を傾け、じっくりと向き合うことが大切です。また、「いじめ」を認知した場合には、子どもの苦しみ心情を自分のこととして重く受け止めて対応することが重要だと考えています。

「ハッピー仲間集会」の話し合いの中で、ある生徒は次のような発言をしていました。

私が思う「仲間」とは、お互いに気持ちを理解し合って、何でも話し合える関係だと思います。自分勝手なことを言って人を傷つけるのはよくないと思うし……、お互いに思いやりをもって接するようにすれば、もっといい関係になると思う。本当の意味でみんなが安心して過ごせる仲間づくりをしたいです。

これからも、学校・家庭・地域の心通い合う関係づくりを大事にして、「いじめ」の起きない、子どもたちが安心して学べる環境づくりを目指していきたいと考えています。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



10月25日(金)秋晴  
れの下、150名を超える  
保護者、地域の方からお  
集まりいただき、合唱コ  
ンクールを行いました。

今年度は来場者も交  
えて、「ふるさと」を歌  
うなどの新たな取組も  
試みたところ、「充実し  
た時間を過ごすことが  
できました」「中学生の  
エネルギーに感動しま  
した」などの感想をいた  
だきました。

1  
学  
年  
合  
唱



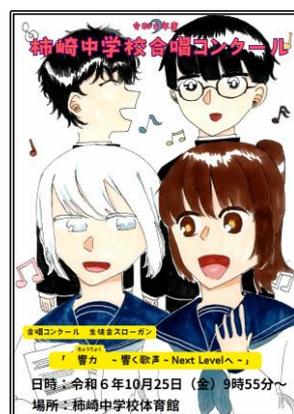
2  
学  
年  
合  
唱



3  
学  
年  
合  
唱



**美術部員が作成した  
合唱コンクールポスター**  
\* 柿崎区内の商業施設等で  
掲示していただきました。





## ハッピーなかま集会

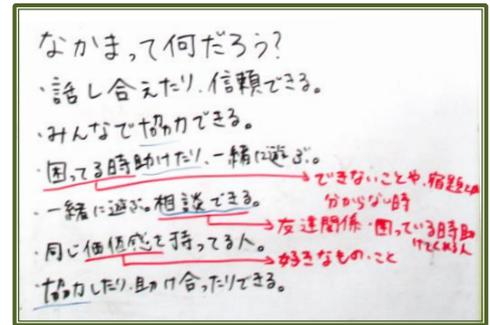
今年、11月8日（金）に、小学6年生と中学1年生で対話を中心とする活動を行いました。

青少年育成会議会長の山川 春男 様は、開会のあいさつで「いじめ見逃しゼロを目的とした集会でありながら、“ハッピーな仲間になろう”という未来に向けた前向きな名称でこの会が開かれている。こうした考え方を大切にしたいですね」と話されました。

この集会での活動が、次年度の仲間づくりのきっかけとなることを願っています。



山川 春夫 様による開会のあいさつ



話し合った内容をまとめたホワイトボード



## 道徳教育研究発表会

11月14日（木）、道徳教育研究発表会を開催しました。県内の教育関係者が数多く集まることから、体育館での授業公開となりました。1-1の生徒は、普段と異なる学習環境でも、物おじすることなく、課題に取り組み様々な考えを伝え合いました。

### 【授業後の生徒の振り返り】

○今日の話し合いをとおして、自分と考え方が全く違う人がたくさんいるということが分かりました。自分は状況を重視する考え方をしていただけ、他の人の思いやりを重視するような考えを聞き、そういう考え方もいいなと思いました。

○無理でも挑戦して対応しないと、人を救えない場合もあるから、少しのことでも気付いて行動していきたい。

### 【授業課題】

地震が発生し、柿中体育館が避難所に…。しかし、柿中の車いす用トイレは壊れ、気持ちのすれ違いによる様々な対立が生じている。そんな時、車いすで3人のおばあちゃんがやって来た。あなたが避難所の受付役であったなら、どうしますか？

①日本語を話せない←

②近所のおばあちゃん←

③自分のおばあちゃん←



60名近くの教育関係者が参観する中、真剣に取り組む生徒



## ～お知らせ～

### ◇地域の方のご支援に感謝申し上げます

① 先日、中学校にビニル袋を手にした地域の方が来てくださいました。中を開けてみると、多くのベルマークが入っていました。今年から生徒による自主的な呼びかけで始まったベルマーク回収活動のことを知って、届けてくださいました。

また、季節ごとに咲く様々な花を、定期的に学校に届けくださる地域の方も数名いらっしゃいます。日ごろ、目にする事のない方々からあたたかなご配慮をいただいていることに御礼申し上げます。



- ② 10月1日から全国で始まった赤い羽根共同募金。今年は「じぶんのまちを良くするしくみ」というテーマで活動が展開されています。柿崎中学校でも生徒会を中心に活動を行いました。合唱コンクール当日にはご来場いただいた方々からもご協力いただきました。活動の結果、**17,851円**の寄付をいただきましたことをご報告します。
- ③ 合唱コンクール当日、第2回学校運営協議会を開催し、委員の皆様から貴重なご意見をいただきました。その一部をご紹介します。

#### < 合唱コンクールについて >

- 歌声は「すごかった！」の一言。
- スライドの様子から日頃の生徒の様子が伝わってきて、よかった。
- 生徒主体の運営であったり、時間を守って行動するなど、落ち着いた生活をしていることが伝わってくる。
- 柿崎中がこんなに素晴らしい活動をしているということを広めるために、コンクール当日の様子の記録をCDに納めて配りたい。

#### < 定着度テスト導入と学習の取組の変化について >

- スマホやゲーム等の誘惑が多い。学校から学習のきっかけを与えてもらえるとありがたい。
- 行動変容のためには、数値データの提示によって本人に目標を持たせることが必要といわれる。テストの順位を生徒本人に伝え、学習の励みとしてもよいのではないか。
- 定着度テストを導入したことの成果がまだ見えない。



### ◇今年もやります！ダンス発表会

11月から全学年の体育の時間では、ダンスに取り組んでいます。生徒は仲間と協力しながら、体で表現することを楽しんでいます。

ダンス発表会は12月23日(月)3～4時間目に柿崎中学校の体育館で行います。地域・保護者の皆様からお越しいただき、中学生のエネルギーあふれるダンスを見ていただければと思います。



初のダンス授業に戸惑いながらも、楽しんで取り組む1年生